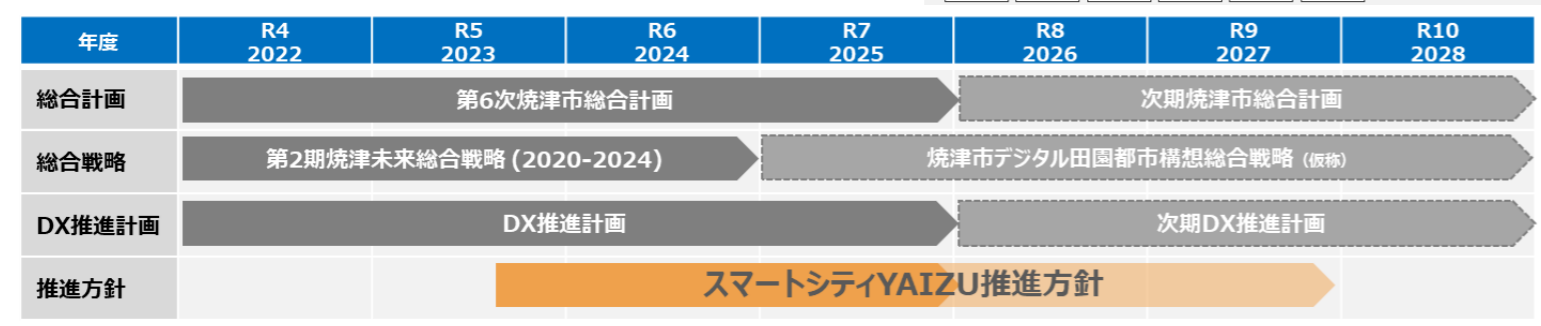


■ 策定の背景と目的

- 焼津市では、令和3年に焼津市DX推進計画を策定し、「デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしの実現」をビジョンに掲げ、スマートシティYAIZUの取り組みを開始しました。
- 令和4年には官民連携の推進組織として、焼津市スマートシティ推進検討会を発足。オープンデータ連携基盤を構築し、データや先端技術を活用した、新たな市民サービスの提供をスタートしています。
- この取り組みを一層進めていくため、焼津の魅力を高め、持続可能なまちとしての「スマートシティYAIZU」の将来像と、それを実現するために必要な考え方や施策をまとめた「スマートシティYAIZU推進方針」を策定します。

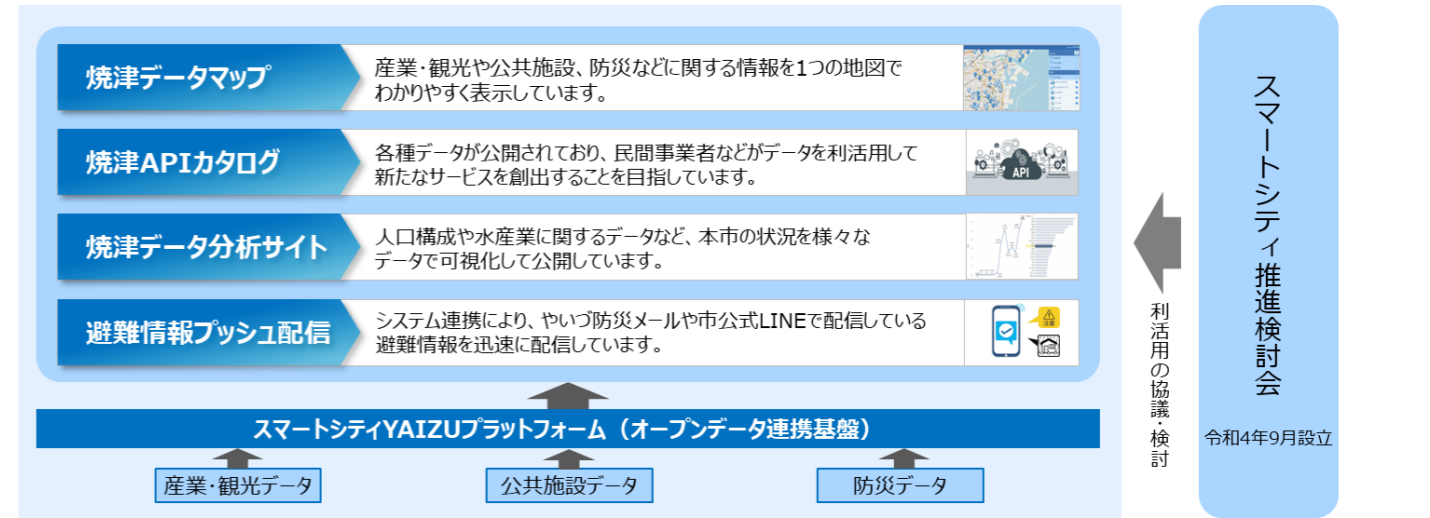
■ 位置付け

- スマートシティYAIZU推進方針は、「焼津市DX推進計画」のリーディングプロジェクト2“官民データ活用組織の構築”の具体的な取り組みを示すものです。
- 第6次焼津市総合計画の6つの政策分野を横断的にとらえ、焼津市デジタル田園都市構想総合戦略(仮称)とも整合性を取りながら、DX推進計画の計画期間である令和7年度末までに優先的に取り組む事項を整理しています。令和3年11月に策定した「焼津市DX推進計画」の各政策分野の取り組み内容については、本方針の中で一部更新しています。
- 「焼津市デジタル田園都市構想総合戦略」(仮称)の横断的目標の1つにスマートシティの実現を盛り込む予定であり、一体的な推進を行います。



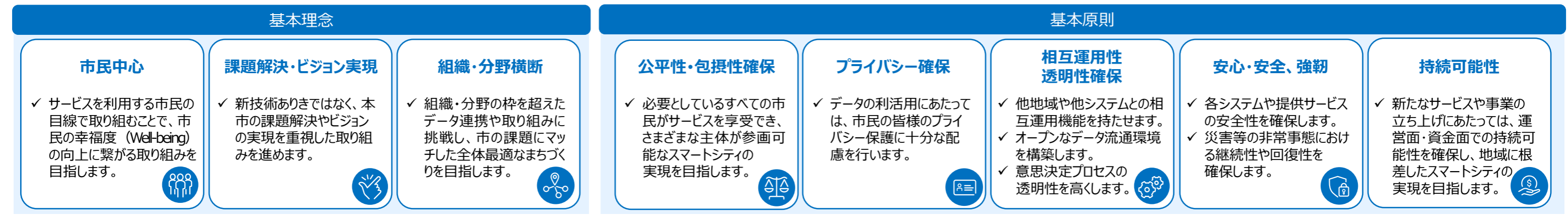
■ スマートシティYAIZUのこれまでの取り組み

- スマートシティYAIZUでは、地域課題の解決や新たな価値・サービスの創出による市民のWell-Being向上を目指し、ICTなどの新しい技術やデータを活用し、市民の生活をより便利で快適にする取り組みを推進しています。またこれまでスマートシティYAIZUプラットフォーム(オープンデータ連携基盤)で収集した産業や観光、防災のデータを活用し、4つのサービスをリリースしました。さらに、スマートシティ推進検討会を立ち上げ、データ利活用について協議を進めています。



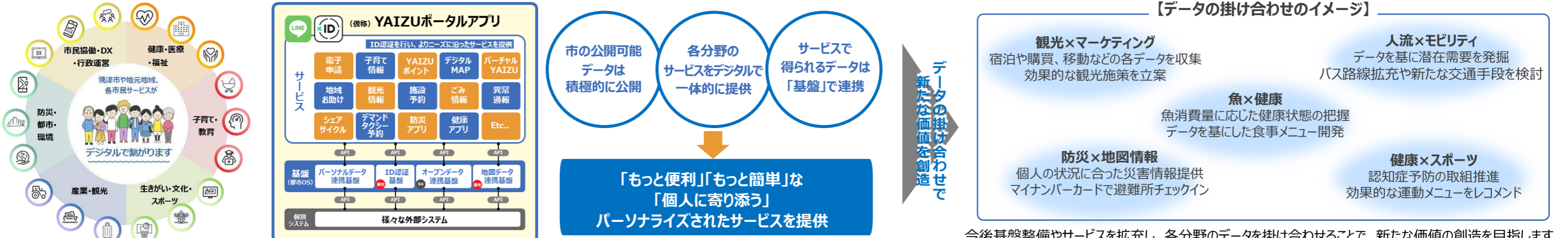
■ 基本理念・基本原則

- スマートシティYAIZUの実現に向けて、3つの基本理念と5つの基本原則に基づき、各取り組みを進めます。



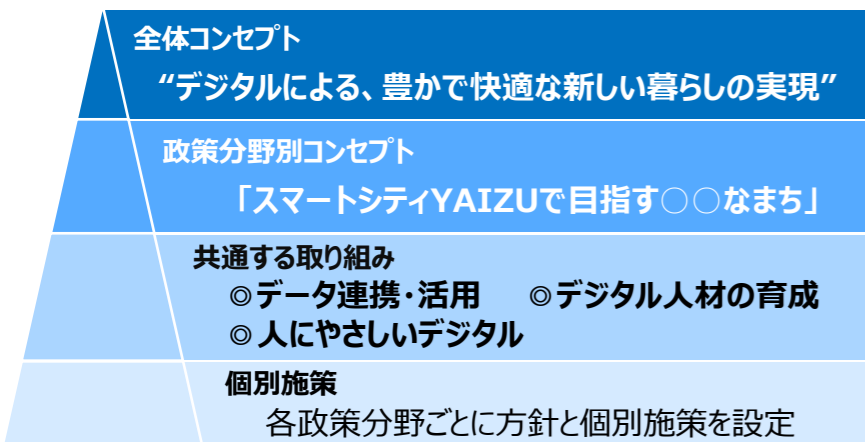
■ スマートシティYAIZUが目指すサービスのあり方

- 焼津市で展開される各サービスを集約した市民ポータルアプリの構築を目指します。全てのサービスが共通IDで利用でき、個人のニーズに沿った情報が配信され、市民の利便性が向上します。



今後基盤整備やサービスを拡充し、各分野のデータを掛け合わせることで、新たな価値の創造を目指します

コンセプト・施策方針・個別施策



(1) 健康・医療・福祉

- だれもがカンタンにつながり、健康で過ごせるまち**
- ①AIやパーソナルデータを活用した市民の健康づくり支援
- 1.健康管理アプリ **重点**
- ②社会的孤立や健康不安解消のための「つながる」仕組みづくり
- 1.オンライン健康相談の充実
 - 2.マッチングサービス（交流、共助・ボランティア）導入検討
- ③高齢者や助けが必要な方をデジタルで見守る新たな取り組みの実施
- 1.新たな高齢者見守りサービス導入

(2) 子育て・教育

- 焼津で育つことに安心と誇りを持てるまち**
- ①GIGAスクール構想実現に向けた学習環境整備
- 1.Wi-Fi環境整備拡充
 - 2.デジタル学習の拡充 **重点**
- ②安心して子育て・教育ができる連絡相談手段のオンライン化
- 1.学校保護者間のオンライン連絡ツール統一 **重点**
 - 2.オンライン相談の拡充
 - 3.オンライン手続き拡充、子育て関連通知の個別配信
 - 4.マッチングサービス導入検討
- ③焼津のまちを学べる地域デジタルコンテンツの充実
- 1.VR/デジタル空間の活用

(3) 生きがい・文化・スポーツ

- デジタルを活用して生きがい交流できる優しいまち**
- ①生きがいづくりや交流につながる焼津ならではのオンラインコンテンツの充実
- 1.オンライン講座の充実 **重点**
 - 2.デジタルアーカイブ導入
 3. VR/デジタル空間の活用
- ②社会参加型の生きがいマッチングサービスの実施
- 1.マッチングサービスの導入検討 **重点**
- ③デジタル活用をサポートする地域デジタルステーションの設置
- 1.地域交流センターへのデジタル機器等導入
- ④対面交流を促進する文化・スポーツ施設の利便性向上
- 1.施設予約の利便性向上

(4) 産業・観光

- にぎわいがある豊かな地域産業のまち**
- ①デジタルを活用した焼津ならではの特産品販売や体験コンテンツの提供
- 1.体験型コンテンツの拡充
 - 2.焼津イベントカレンダーの公開
 3. VR/デジタル空間の活用
- ②各施設を結び快適に移動できる交通サービスの充実
- 1.次世代型地域交通の検討・導入・運用
- ③新規事業・イノベーションの創出やそれを可能にするプラットフォームづくり
- 1.ビジネスマッチング・企業間交流・スタートアップ支援の推進
- ④産業分野におけるデジタル活用の更なる推進
- 1.スマート水産業の推進 **重点**
 - 2.スマート農業の推進 **重点**
 - 3.民間企業のDX・人材育成支援

(5) 防災・都市・環境

- 人と人がつながり未来を創造し続けるまち**
- ①デジタルを活用した防災・減災対策の高度化、災害予測の高精度化
- 1.避難所等チェックイン・安否確認 **重点**
 - 2.被災者支援システム更新
 3. AI・データを活用した高度な災害予測 **重点**
- ②地図データ基盤整備によるまちの可視化
- 1.統合型GIS **重点**
- ③市民の足となるシェアサイクルや自動運転バスなど交通手段の拡大
- 1.くるりん号（デマンド型乗合タクシー）の拡充検討・実施
 - 2.次世代型地域交通の検討・導入・運用
- ④データ駆動型のまちづくりや環境負荷低減施策の実施
- 1.人流・交通量データの活用検討・データ取得・利活用
 - 2.AIを活用した道路異常や河川氾濫検知
 - 3.AIを活用したごみ分別支援
 - 4.ごみ集積所のデジタル管理推進

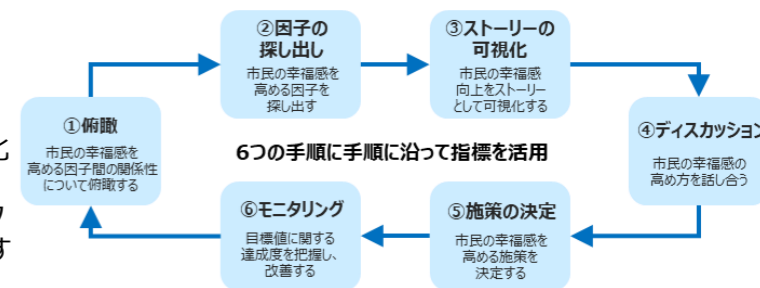
(6) 市民協働・DX・行政運営

- 一人ひとりが幸せを感じるまち**
- ①市役所内の業務最適化・連携強化による市民サービスの向上
- 1.ノーコードツール、生成AIの業務での活用推進 **重点**
 - 2.業務用スマホ・チャット導入
 - 3.書かないワンストップ窓口導入
- ②オンライン手続きの拡充
- 1.電子申請の拡充
- ③個人や地域に最適化した情報発信
- 1.個人宛情報のプッシュ通知、チャットボットの利活用
 - 2.多言語翻訳サービスの拡充
 - 3.デジタル回覧板等デジタル技術活用についての地元への情報提供
- ④対面とデジタルの「ハイブリッド型」の市民協働推進
- 1.市民参加オンラインツールの活用

地域幸福度（Well-being）向上に繋がるスマートシティを目指して

○焼津市では地域幸福度（Well-being）指標アンケートを定期実施しています。今後も本指標を活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」をモニタリングしていきます。得られた結果は、施策の立案やサービス改善に活用し、より効果的な施策の展開を目指します。

※**地域幸福度(Well-Being)指標**とは客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を指標で数値化・可視化したものです。数値化・可視化することで、自治体が「個性を磨く」機会を創出し、データ根拠に基づいた政策立案・検証を推進します



○Smart City Institute Japanで公開されているダッシュボード「令和5年度版（全国調査／個別調査）」から本市のWell-Being指標を分析。各象限の7つの因子から政策分野別の重点施策を決定。デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしとともに、地域幸福度の実現を目指します。

（参考）R5年度 焼津市Well-beingアンケート結果 全国偏差値50



推進体制

○本市の課題解決を目的としたサービス実装を一層進めるため、スマートシティYAIZU推進検討会の体制を発展させ、市内外の民間事業者を会員とした「スマートシティYAIZU推進協議会」の設立を目指します。

